

第3回地域部活動勉強会 2022.09.01

地域の小中学生の健全育成をめざして、中学校運動部活動改革の実行計画を考える

今回の勉強会の主旨説明

1. GERO NORTHバスケットボールクラブ設立について

- 萩原SCが推進する部活動連携のモデル事業として捉える
 - 萩原SCにて支援をしながら関係者間の連携業務内容の整備を行う
- 詳細説明は、別紙「GERO NORTHバスケットボールクラブ設立について」を参照

2. 下呂市における中学校部活動改革の現状について *共通認識を高めるために*

- 下呂市内の中学校及び地域の現状
- 中学校と地域の連携の現状
- 地域部活動推進事業の進捗状況
- 下呂市が提案する地域部活動推進施策
- 萩原SCが提案する中学校部活動改革

次回は、部活動の全種目を対象とする萩原SCが提案する中学校部活動改革について考える

下呂市内の中学校の現状について

令和3年度データを表示します (2021 下呂市データ集参照)

学校名	旧町村名	生徒数	部活動数	普通教室	地域人口
小坂中	小坂町	52	5	4	2,789
萩原北中	萩原町	103	6	5	9,939
萩原南中		192	13	8	
馬瀬中	馬瀬村	平成29年に萩原南中に編入			1,051
下呂中	下呂町	190	14	8	11,234
竹原中		90	7	5	
金山中	金山町	136	8	7	5,412

下呂市内の地域の現状について

中学生のスポーツ活動状況について下記します

○総合型地域スポーツクラブ

地域	スポーツ活動状況
小坂	H15小坂スポーツクラブ設立 H22頃?活動停止となり、復活をめざしているが再建に至っていない
萩原	H15萩原スポーツクラブ設立 H19NPO法人萩原スポーツクラブに移行 ・中学生の定期活動メニューは、7種目を提供し実施している
下呂	H16下呂温泉しらざきスポーツクラブ設立 ・中学生チームが複数登録し、定期活動を行なっている
金山	旧金山町の時に、総合型クラブの設立を目指したが設立に至らなかった

○その他

- ・スポーツ少年団 中学生を対象に活動している少年団は無い
- ・任意団体 スポーツ種目毎のチームがあり、その中には部活動構成員のチームもある。

中学校と地域の連携の現状

学校名	地域名	地域団体 及び 連携状況
小坂中	小坂	連携組織無し
萩原北中	萩原	NPO法人萩原スポーツクラブ H15年 クラブ設立時から部活動と連携を開始 ・夜間や休日に部活動と同一種目の活動メニューを提供 ・外部指導者の多くはクラブ指導者が兼務
萩原南中		
下呂中	下呂	下呂温泉しらすぎスポーツクラブ ・H16年 クラブ設立時から部活動と連携を開始 ・夜間に部活動と同一構成員チームでの活動を実施
竹原中		
金山中	金山	連携組織無し

○萩原、下呂地域は、「H12年スポーツ振興基本計画」を基に連携事業を開始している

- ・学校の働き方改革に伴う部活動改革における休日の地域移行などは、後から出てきた課題
- ・クラブは、部活動の受け皿でも部活動の支援のために連携している訳ではない

○小坂、金山地域は、保護者組織が部活動毎に指導者や活動場所等を手配し部活動を実施している

- ・岐阜県内では、保護者クラブなどと呼称されている

地域部活動推進事業の進捗状況

○地域部活動とは

令和2年9月に出された「学校の働き方改革に伴う運動部活動改革」において、「休日の部活動の地域移行」が提起された。休日活動は、地域クラブなどの地域管理下での運営とする活動に移行し、この時の活動を地域部活動と呼称している。地域管理下で運営するが、部活動の目的を踏まえた運営を必要とされている。

○令和3年度

- ①地域部活動推進事業の実践研究として、教育委員会からの委託事業を萩原SCにて実施した
 - ・部活動を学校単位から地域単位の活動に変更 下呂市北部と南部の2つに分類
 - ・下呂市北部は、萩原南、萩原北、小坂の3中学校 萩原南中を拠点校とし萩原SCとの連携を研究
- ②地域部活動とは異なるが、複数校の合同による部活動の編成の実践研究も実施された
 - ・休日に参加する生徒の送迎手段の改変や経費支援など

○令和4年度

- 令和3年度の下呂市北部・南部に分類施策は止めるとする方針変更が教委から示された
- ・詳細は、次ページに記述

※令和3年度萩原SCが実施した内容は、継続されず棚上げ状態となっている

下呂市が提案する令和4年度以降の地域部活動推進計画 学校教育課担当

令和4年度 第1回下呂市部活動地域移行準備委員会 R4.5.27開催

レジメ資料

1. 開会の言葉(下呂中 中村校長)
2. 自己紹介 主席者一覧
3. 令和4年度部活動実施について
 - ・部活動地域移行について 下呂市教委
 - ・令和4年度の部活動の在り方について(合同部活動・合同練習) 校長会
 - ・地域部活動の検討 まちづくり推進課 スポーツ係
4. 今後の部活動の地域移行についての意見交流(論点整理)
 - ・令和5年度から7年度までに(スポーツ団体への支援、経費・人員の確保など)

クラブ意見

準備委員会会議の結果を元に、クラブにて対応策を協議した

下呂市の地域部活動推進の具体案 萩原SC作成

下呂市全体を考慮した上で、地域の実情に合わせて、次の3つの方式を提案します

萩原・小坂地域（萩原南中、萩原北中、小坂中）

①自立した総合型クラブと中学校との協働連携方式

- ・萩原SCが運営管理を行う
 - ・学校教育課(学校教育)、まちづくり推進課(社会教育)、各中学校は、萩原SCと協働する
- 期待効果 受益者（保護者）負担及び行政負担の削減、サービスの向上と継続支援

下呂地域（下呂中、竹原中）

金山地域（金山中）

中学校部活動改革に関する要点

すべての関係者が理解し、共通認識となるようにすべきこと考えます。

①発想の転換

- ・ブレークスルー 過去の延長線上に未来がある訳ではない
これまでは、中学生のスポーツ育成・普及は部活動が重要な役割を果たしてきた
これからは、地域と中学校が連携して、中学生のスポーツ育成を行う
部活動は、中学生のスポーツ育成の活動の中の一つの機能と捉える

②協働連携

- ・萩原SCと中学校とが対等の立場で協力して活動する
- ・萩原SC負担が加わることで、受益者(保護者)負担や行政負担の軽減が図れる
- ・中学生のスポーツ活動の運営継続と、生涯スポーツの実施者の増加に繋げる
総合型クラブがめざす目的と合致することと言える

③意思統一 関係者に望む重要事項を1つ記述

- ・保護者 部活動経費の実態を把握し、受益者負担分と、他者への助成要請分を区別する
- ・学校教育課 連携先である総合型クラブの理念・目的や事業内容などを理解する
- ・まちづくり推進課 総合型クラブの育成・支援を強化する
- ・萩原SC 総合型クラブの理念・目的について原点に戻って再確認し、意思統一を図る